

夏の作文 7~9面

# 「わたしの青春時代」

今回は、「わたしの青春時代」をテーマに作文を募集（募集期間は6月30日まで）しました。たくさんのご応募をいただきまして、ありがとうございます。

お寄せいただいた作文をご紹介します。掲載に当たり、文章は原則として原文のまま掲載しました。

なお、本文中の数値、名称、内容は市が確認したものではありません。

**問合せ** 広報秘書課広報係（☎042-387-9803）

### 70歳代 今が一番

慶長政さん

年を重ねて七十二年の青春が真っ只中。働く事のよる喜びを今さらながら感じています。

若い時には気づかなかった人生って素晴らしいって。出会いあり別れがあり、泣いたり笑ったり怒ったり、苦しい！

### 70歳代 わたしの青春時代

中山美子さん

私の青春時代は、洋画に明け暮れていました。それと云うのも、東京に住む彼から、新しい洋画の情報が入ると、すぐに観たくなって、日曜日ともなると、毎週のように、封切館のあるS市まで、バスで一時間程かけて、出掛け二本立ての映画館を、二館掛け持って、四本の外国映画を観て、満ち足りた気分です。

### 60歳代 歩の巨人

金場茂雄さん

昭和40年代職場のお昼休み時間は将棋ゲームの花盛りだった。ハサミ・回将棋は知っていたが本将棋は全く知らなかった。先輩に手ほどきをお願いした。当時の流行二大戦法は王様側近に金銀4枚配置させた総矢倉戦。中々勝負付かず時間切れ引き分けが多かった。

もう一方は飛車と銀で速攻の原始中飛車戦法。20分位で勝負が付く場合が多い。先輩はこの戦法が大好きで私は毎日負け続けていた。一念発起して書店で中原誠名人著書「将棋シリーズ」全10冊セット購入し勉強しました。その中に歩で中飛車側の攻撃をくい止め居飛車側が優位になる手筋発見した。それを先輩に試した処うまく指せて初勝利しました。それ以来先輩との対局はなくなりまし

### 50歳代 寝台特急に魅せられて

山本浩人さん

山口百恵が歌う「いい日旅立ち」が国鉄のキャンペーン歌としてヒットしていた頃、私も鉄道を使って日本中を巡る旅に夢中になっていた。今で言う「乗り鉄」のはしりである。

当時私は大学生で、塾講師のアルバイトを貯めて旅に出かけていた。塾では社会科を担当し、地理の授業では旅行体験から得られたリアルな話ばかりをしていたように思う。趣味と実益を兼ねたアルバイトだった。

大学一年の二月、サークルの合宿で、初めて北海道を旅行する機会に恵まれた。上野を十九時頃に出る夜行急行で青森まで行き、そこから青函連絡船で道内入りする旅程だった。ところが、その日に塾のアルバイトがあつてどうし

### 80歳代 風変わりな青春

永井孝子さん

戦時中たび重なる空襲に遭い乍ら、念願の高等女学校に入学した時、先輩方は軍事工場へ動員されて学校には居られず低学年のみの淋しい学び舎生活は心細さも感じていました。終戦に依り秋からは全員学校に戻られ、今迄夢に見ていた女学校生活が始まりました。ついこの間迄工場で働いていた方々とは思えぬ程おしとやかで美しい上級生に誇りを感じました。それからしばらくして掲示板に短歌がはり出され、動員中のつらい体験歌に心打たれ、私も戦時中防空壕の中で詠み綴った時の事を思い出し、再び短歌にのめり込みました頃、或優秀な先輩の方から達筆なお手紙を戴き、ときどきしつ返信しましたことが御縁で短歌を添えた文通が何十年も続き

でもその夜行急行に間に合わない為、一人別行動をとった。二十二時頃に上野を出る寝台特急であとを追いかけた。そして青森駅で寝不足気味の仲間と合流し連絡船に乗船した。夜行急行は堅い座席の四人掛けに対し寝台特急は三段式とはいえ体を横たえて眠ることができる。この差は大きく、先発した先輩から嫌味を言われたことを思い出す。しかし、これがきっかけで寝台特急と北海道を好きになり、幾度となく出かけている。

### 90歳代 わたしの青春時代

矢島政子さん

敗戦の日、二十歳の私はただ嬉しかった。誰にも命令されず自由に生きて良いのだと。食糧は乏しかったけれど心はのびくと豊かになるのを感じた。モンペを脱ぎ、焼け残りの布で服作り。五十代の母をいたわり妹と家事を分担し、洋裁や料理講習を頼まれ、一方、読書会、キャンプにも参加し、ファイアーを囲

### 60歳代 私が中学の音楽教師だった頃

中村良子さん

40年前、私は三月月限定の産休代員として岡山市郊外にある御津中学というところで音楽科教師をしていた。一年生から三年生までの音楽を担当。まず普通教室から移動する音楽室の席は好きな所に座ってもらった。他教科とは違う楽しい時間にしたかった。当時は長い髪だった私を授業中にスケッチする生徒、追いかけて放課後の音楽室に逃げ込んでくる生徒、ピアノ伴奏を頼んでいた生徒の母親が菓子折を持って我が家を訪問。高校から音楽コースのある学校に進学させる方が良いであろうか。お願いの菓子折は生まれて初めての事。ちょっと嬉しかった。

期末テストでは、言わゆる成績の良い子と成績の良い子が音楽科でも他の教科と同様な結果になるであろうこと。——実に、青春ドラマのような日々だった。

